リウマトレックスを服用中の方へ

過日、**リウマトレックス**（メソトレキサート）の副作用で間質性肺炎が起こり多くの死亡例が出ているとの報道がありました．この薬剤を服用されている患者さんが不安感を強く持たれるのは当然のことと思います．しかしながら、現在このお薬で良好な経過を得られている方は、下記の事をよく理解した上で治療を継続されることをおすすめします．

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

間質性肺炎：普通の細菌で起きる肺炎とは違います．ウイルスが引き金になることもありますが、原因はさまざまです．呼吸困難が主症状で、肺線維症とも言われます．

1. **特発性のもの**；原因不明で起こる間質性肺炎
2. **膠原病に伴うもの**；全身性強皮症の多くはこの病変を伴います．関節リウマチでは、男性で高齢発症の方に起きやすいとも言われています．
3. **放射線障害、化学物質など**の過敏症によるもの．
4. **薬剤により誘発されるもの**；抗リウマチ剤、抗ガン剤などの薬剤が原因で引き起こされるもの．

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

診断には、下記のことが参考になります．
副作用を早期に発見するためにも、毎回診察を受けて下さい．

- **自覚症状**；突然の高熱、強い息切れ感、痰のでない空咳等があったら、直ちに服用を中止して来院して下さい．
- **胸部の聴診**；間質性肺炎に特有の雑音が聴取されることがあります．毎回診察を受けて胸部の音を聴かせて下さい．
- **血液検査**；間質性肺炎では、ＫＬ－６の値が上昇することがあります．血液や尿の検査するのはこうした薬剤による副作用（骨髄障害、肝臓、腎臓などの傷害も）を早期に発見するためです．
- **胸部レントゲン所見**；少なくとも年に１、２回はレントゲン撮影が必要です．

日本内科学会認定医、日本リウマチ学会専門医：医学博士　奈須　一
c Copyrights 2005 Nasu Medical Clinic　All rights reserved